

最低でも 20 校、最大で 42 校の小・中学校をつぶす計画を示したが、30 人以下学級が実現された場合、学校は不足するのではないかと。また、1973 年の文部省通達では「学校規模を重視するあまり無理な統廃合を行うことは避ける」と指摘しており、実態に合わない「ガイドライン」は撤回すべきかどうか。

【学校教育】国や都の動向を注視しながら、小・中学校の適正規模・適正配置を進めていく。また、「ガイドライン」を撤回する考えはない。

【問】当区は区内で最も外国人児童・生徒が多い自治体だが、小・中学校とも昼間の日本語学級がない。23 区中、小学校は 11 区、中学校は 5 区で設置されている。当区にも小・中学校ともに設置し、日本語が十分に学べないために進学等に困難をきたしている実態を改善すべきではないか。

また、日本語適応指導教師の配置数と授業日数を増やすべきかどうか。

【学校教育】現在、昼間の日本語学級の新たな設置は考えていない。また、指導講師は一言語 1 名派遣しており、授業日数の基準はあるが、児童・生徒の習得状況により延長を認めている。



### 足立区議会民主党

#### 放射線測定器の区民貸し出しを！ 新田橋架け替え工事期間中の 人道橋の見直しを！



民主党  
おぐら 修平 議員

【問】3 台の放射線測定器に加え、今年度さらに 3 台購入すると聞くが、その内の 1 台を区民貸し出し用としてはどうか。

また、②食品や土壌の放射線量測定機器を購入し、区民が持ち込んだ食品等の放射線量を測定できるようにしてはどうか。

【環境】①まずは定点測定の実や、公共施設の測定に活用することを予定している。測定が一巡し、機器に余力が生じた時貸し出しを検討していく。

【危機管理】②産地での農産物検査等により、暫定規制値を超え、健康に影響する放射線の未検出が確認されていることから、区民の皆様が持ち込む食品等を測定する事業は考えていない。

【問】法的な課題をクリアするためにも、国と協議を重ね、気軽に糖尿病チェックが行えるサービスを推進すべきかどうか。

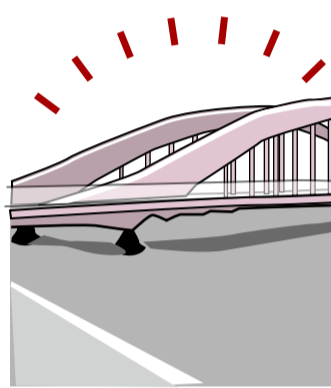
【衛生】区施設等での血液検査は、法による衛生検査所の登録が必要のため、実施は困難である。しかし、今後も微量採血と

血液検査が区民の身近な場所で行えるように国に働きかけていく。

【問】新田橋架け替え工事は住民生活に支障のないようにすべき

【問】次回住民説明会はいつ頃の予定か。

また、人道橋方式の仮橋ではなく、車も通行できるものや、仮橋を設置せず本橋を設置する等、住民生活等に支障がない形で工事を実施すべきではないか。



【道路整備】車両の迂回ルートを確認した上で、歩行者のみ通行可能な仮橋案、仮橋を設けず既存橋に隣接した位置に本橋を架橋する案の 3 案について、北区と比較検討している。案が出た次、地元説明会を開催し、改めて意見を伺った上で、遅くとも平成 24 年度中には最終的な設計プランを固めていきたい。

### 足立区議会みんなの党

#### 区民の不安を取り除くために やるべきことがある



みんなの党  
ただ 太郎 議員

【問】たとえ期間限定でも、放射線対策に特化した部署をつくり、区民からの声を確実に受け止め、できる限りの手を尽くしていく必要がある。放射線に対し、情報の共有はもちろん、何よりも課題の解決に向け、スムーズにスピード感ある放射線対策を期待できるものになると考えるが、見解を伺う。

【危機管理】放射線対策は、多くの部署が主体的に実施する必要があることから、専門的な部署ではなく、施設や事務事業に責任を持つ各所管の連携体制を進めている。

【問】「防災無線に頼らない情報伝達を強化していく」と表明している区の観点からも、ツイッターを使わない理由はないと考えるがどうか。

【広報】ツイッターについては、

最近になり便利なシステムが開発され、区が導入している A-メールの内容を自動的にツイッターに掲載することが可能となってきた。現在、発信方法も含め、今年度中の導入に向けた検討を進めている。

【問】亀有駅から電車を利用した際、切符を購入した時よりも、スイカやパスモ等の IC カード利用時の運賃が高い場合があることについて、葛飾区と連携してこの問題を検証し、運賃計算の改定を求めるときと考えるかどうか。

【都市建設】区として運賃計算の改定を求める考えはないが、今後もわかりやすい利用者への案内に関し、葛飾区と情報交換を密に行っていく。

【問】「防災無線に頼らない情報伝達を強化していく」と表明している区の観点からも、ツイッターを使わない理由はないと考えるがどうか。



### 無党派

#### なぜ区長選挙で マニフェストを掲げなかったのか



無党派  
へんみ 圭一 議員

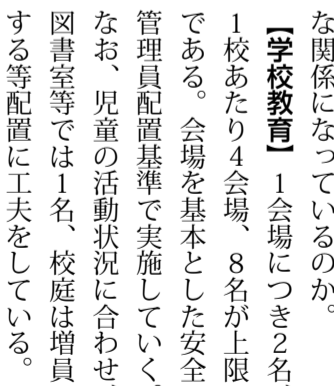
【問】今回の区長選挙において、少なくとも前回並みのマニフェストを掲げなかった理由は何か。

【区長】一期目の選挙でのマニフェストを落とし込んだ「重点プロジェクト」を進化・発展し構築した「第二次重点プロジェクト」をマニフェストと考えていたが、区民の皆様に伝わっていかないと非常に弱かったと率直にお詫びしたいと思う。

【問】放課後子ども教室における安全管理員について、参加児童数に応じ、スタッフを増やすべきではないか。NPO、中高生や区内大学生との連携強化についてもあわせて伺う。

また、学童保育とはどのような関係になっているのか。

【学校教育】1 会場につき 2 名 1 校あたり 4 会場、8 名が上限である。会場を基本とした安全管理員配置基準で実施していく。なお、児童の活動状況に合わせて、図書室等は 1 名、校庭は増員する等配置に工夫をしている。



【問】旧東部工務事務所を学校法人三幸学園が改築する際、図書館機能の設置について協議を行うことはできないか。

【資産管理】改築後の施設について、現在のところ図書館の設置の考えはないと聞くが、地元の要望をしっかりと伝えていく。

【問】旧東部工務事務所を学校法人三幸学園が改築する際、図書館機能の設置について協議を行うことはできないか。